

次号予告

特集 通信・情報処理分野におけるORの実践

社会システム化への挑戦

—サービスの情報化をベースに—加藤 善次郎 (セコム)

シミュレーションによる情報ネットワークシステムの性能評価

.....相澤 りえ子 (構造計画研究所), 石田 和徳 (富士通)

コンピュータ・システムにおけるパフォーマンス管理小幡 一郎 (Insight Technology, Inc.)

通信ネットワークの最前線から井上 正之, 山本 尚生, 川島 幸之助 (NTT)

編集後記●雨が降ったり晴れたり、暑かったり涼しかったりのはっきりしない天気の日々です。気象庁の予報官もこの時期の天気予報にはさぞかし苦勞するのではないのでしょうか。梅雨時の雨量は冬の降雪量と共にわが国の夏の水不足問題にも重要な影響を及ぼす要因となりそうです。この辺の要因間の関係が明らかになればと思います。地球温暖化、オゾン層破壊が問題となっている昨今、地球上の気温も年々わずかずつ上昇しているといわれています。本年12月には京都で気候変動枠組み条約の締約会議が開催され、西暦2000年以降の地球温暖化防止のため具体的な数値目標が決められることになりそうです。地球温暖化の最大の要因といわれている二酸化炭素の排出量についてはわが国はアメリカ、中国、ロシアに次いで世界第4位です。地球規模の気温上昇を抑えるために、2000年における二酸化炭素の排出量を1990年レベルまで減少させるという国際約束に対しては、わが国も相応の責任を果たさなければならないといわれています。自然科学、社

会科学を含めて、科学的分析にもとづいた何らかの情報提供ができればと思います。ORの問題がたくさんころがっているような気がします。本誌情報を含めて、ORが少しでも貢献できたらと思います。

●本誌編集委員も新しくなりました。6人の新メンバーを加え、全員が“キャリア2年以下”の“フレッシュ”なメンバーでスタートです。前年度までの編集長以下、委員皆様の立派な実績を考えると、不安がないわけでもありませんが、毎月出版という本誌ではゆっくりする暇もありません。次々と原稿依頼、継続事項のチェック、新企画を考えなくてはなりません。本当に雑誌の編集は大変な仕事のようにです。皆様に喜んでもらえる、楽しんでもらえる、そして参考になる、そんな雑誌を作りたいと編集委員全員が考えております。学会員の誰もが、各号1つの記事だけでもいい、十分に満足のもの、よかったといってもらえるものを提供できたらと思っております。皆様のご協力を切にお願いいたします。
(大山達雄)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 大山達雄(埼玉大学) **副委員長** 田口 東(中央大学)

委員 上田徹(成蹊大学)、葛山康典(早稲田大学)、國澤直樹(東京電力株)、栗田治(慶応義塾大学)、笹山晋一(東京ガス株)、椎名孝之(助電力中央研究所)、繁野麻衣子(筑波大学)、外嶋成留(住友金属工業株)、田中宏和(神奈川工科大学)、田村明久(電気通信大学)、中里宗敬(青山学院大学)、原 裕淳(株東芝)、宮崎知明(富士通株)、矢島安敏(東京工業大学)、山下英明(駒澤大学)、吉野秀明(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成9年7月号 第42巻 第7号 通巻439号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 大山 達 雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円(本体924円、郵送料含) 年間予約購読料11,040円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ